

令和4年度第1回生物多様性地域戦略部会のご意見一覧について

議題	No	主なご意見	対応方針
第3次府中市環境基本計画（素案）第4章基本方針2について 指すべき姿「府中市生物多様性地域戦略としての位置づけ」	1	「戦略の背景」や「生物多様性とは」といった説明は方針の最後に持って行き、「府中市の自然環境と生物多様性の現況と課題」から始めた方がわかりやすいのではないかと。	他の基本方針の構成もふまえて、資料編に移すなどの方法を検討いたします。
	2	資料3ページ、「生き物同士のつながり」「時間的なつながり」の図が不正確であり、修正が必要。	修正いたします。
	3	資料11ページ、「府中市の生物多様性俯瞰図」について、生物多様性に貢献している民家の緑も落とし込むべきである。	図の修正作業を予定しており、記載の方法を検討してまいります。
	4	資料11ページ、「府中市の生物多様性俯瞰図」について、府中市の中だけではなく、周辺地域との生態系のつながりが分かるものにしていくべきである。	図の修正作業を予定しており、周辺環境とのつながりも伝わるものとなるよう検討してまいります。
	5	資料11ページ、「府中市の生物多様性俯瞰図」について、緑地の面積や箇所数など、説明があった方がよい。	俯瞰図は単純化したものとする予定のため、12ページの種数のデータの修正にて検討いたします。
	6	資料12ページ、生物の種数のデータの文字が小さく、読んでもらえないのではないかと。	地図の欄外にデータを記載するなど、見やすい掲載方法に修正いたします。
	7	資料12ページ、生物の種数のデータについては出典を明示し、不正確なデータは用いない方がよい。	データの正確性と出典を再確認のうえ、修正いたします。
	8	資料19ページ、コラム「エコロジカル・ネットワーク」の図については、地図のネットワーク軸上の住民などに誤解を与えかねないため、すでにネットワークが形成されている他地域の事例などを示した方がよい。	修正いたします。
	9	(資料19ページ、コラム「エコロジカル・ネットワーク」に関連して)公園など規模の大きな緑地だけではなく、街路樹などにも着目し、地域在来の樹種を使うなどの取組をしてはどうか。	生物多様性に資する緑化の推進というところで、具体的な取組を示していきたいと考えています。
	10	学校における環境教育の環境整備が整っていないと感じているがどのように考えているか。	学校教育だけに環境教育を任せるのは負担が大きいと考えており、環境行政として学校教育への支援に取り組んでいきたいと考えております。
	11	資料22ページ、生物多様性に関わる各主体の説明文が主体によりボリュームが異なるため、少ないところはボリュームを増やした方がよいのではないかと。	検討いたします。
第4章基本方針2について 「(6) 施策の方向性」 「(7) 施策の展開」	1	成果指標について、生物多様性の質的な評価指標を入れられないか。例えば確認されているレッドリスト掲載種の種数(減っているかいないか)、など。	指標値の測定の実現性なども含めて、検討いたします。
	2	成果指標の「緑地率」について、30by30といった目標も示されている中で、25%の目標値は低いのではないかと。	緑被率やみどり率など、緑の豊かさに関する他の指標の採用も含め、再検討いたします。
	3	農地面積の目標値が基準値より下がっており、後ろ向きな印象を受ける。	農地は可能な限り維持していくことが現実的な目標となっており、同様の目標値とされています。指標として採用するか再検討いたします。
	4	水路による水のネットワークは府中の独自性であり、府中の生物多様性を考える場合には、この水環境を活かした街づくりを積極的に行うべきだが、そういう意識が見られない。	本市の財産である用水を利用した生物多様性の保全については、具体的取組を施策の展開に明記いたします。
	5	様々な施策がある中で成果指標が3つでは少ないのではないかと。	基本方針2の取組全体の成果を推し量ることができる指標として案を作成しましたが、その他適当な指標がないか検討いたします。
	5	レッドリストの作成は市民に危機感をもってもらううえで大変有用であると思うのでぜひ実行して欲しい。	調査方法など課題はあるが、実施すべきと考えており、取組として記載いたします。
	6	子どもたちへの環境教育に関する取組内容については教育委員会とのすり合わせを行っているか。	取組については教育部局と協議しながら検討しております。